平成 20 年 8 月 4 日

各　位

会 社 名　バンクテック･ジャパン株式会社
代表者名　代表取締役社長　三井所　清宏
（JASDAQ コード　3818）
問合せ先　執行役員管理本部長　三浦　裕政
（TEL.　03-5434-2551）

平成 20 年 12 月期　中間期・通期業績予想の修正及び通期の配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月 15 日に公表しました平成 20 年 12 月期中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたすとともに、平成 20 年 12 月期の配当予想についても、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.　中間期業績予想の修正（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	6,200	545	530	320
今回修正予想（B）	6,300	810	790	460
増減額（B－A）	100	265	260	140
増減率（%）	1.6	48.6	49.1	43.8

2.　修正理由

売上高につきましては、保険・証券などの銀行以外の金融関連へのシステム納入やアウトソーシングのビジネスなどが順調に推移し、当初計画をやや上回るレベルで達成できる見込みとなりました。

また、利益面におきましては、アプリケーション・ソフトウェア開発におけるプロジェクト管理の改善などが売上高総利益率の改善に寄与したことに加えて、研究開発費の支出の一部が下期に後ろ倒しになったこと、経費の支出全般につき効率的使用に努めたことなどにより販売費及び一般管理費が計画より下回ったことなどによって、当初計画を上回る利益を計上できる見込みとなりました。

3. 通期業績予想の修正（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	12,500	1,030	1,000	600
今回修正予想（B）	13,100	1,300	1,275	720
増減額（B－A）	600	270	275	120
増減率（%）	4.8	26.2	27.5	20.0

4. 修正理由

売上高につきましては、企業の IT（情報通信）関連への設備投資の縮小懸念はあるものの、受注高及び受注残高が順調に推移していることから、通期の売上高につきましても当初計画を上回る見込みです。また、利益に関しましては、事業の順調な拡大による人員増加を背景に、オフィス・スペースの拡大や更なる業務の効率化などを実行するため、当下半期に本社事務所の移転を計画しており、それに伴う経費の臨時的支出の計上などが見込まれますが、売上高総利益率は上半期に引き続き安定した推移が見込まれ、当初計画を上回る予想です。

5. 平成 20 年 12 月期の配当予想の修正

(ア) 修正の内容

	1 株当たり配当金（円）		
基　準　日	中間期末	期末	年間
前回予想 （平成 20 年 2 月 15 日発表）	―	750 円 00 銭	750 円 00 銭
今回修正予想	―	1,400 円 00 銭	1,400 円 00 銭
＜ご参考＞ 前期（平成 19 年 12 月期）実績	―	750 円 00 銭	750 円 00 銭

(イ) 修正の理由

当社は、株主価値の最大化の観点から、経営基盤の充実と今後の事業拡大のための内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を目指すことを重視しつつ、利益の状況、翌期以降の収益見通し、キャッシュ・フローの状況、並びに配当性向などを総合的に勘案の上、株主への利益還元を行うことを基本方針としております。

このような方針から、当期につきましては、売上の順調な推移と売上総利益率の改善を

背景に、売上高、利益ともに前期を大きく上回る見込みであることから、当期末の配当予想を増額修正させていただくことといたしました。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

以上